

課・タイトル	L7 友だちと話す①
ねらい	日常生活で友だちや親しい人と会話をすることができる。

パート	L7-1 しゅうまつ、なにをする？						
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・週末何をするか先生に聞いたり、言ったりすることができる。 ・週末の予定を友だちに聞いたり、言ったりすることができる。 						
場面設定	金曜日、日本語の授業が終わり、学生たちが先生(青木先生)に挨拶をして帰ります。先生は、近くにいる学生ラマさんに声をかけて、週末何をするか聞きます。ラマさんも先生に何をするか聞きます。放課後、ラマさんはクラスメートのマリーさんと週末何をするか話します。						
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>カレンダー、「しゅうまつ」のこぼカード</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面会話に入る前に、「みなさん、今度の土曜日、何をしますか。」「日曜日は？」と聞きます。学習者の答えを聞いた後、学習者にカレンダーを見せて、土曜日、日曜日を示し、「週末」と言い、リピートさせ、「しゅうまつ」のこぼカードを貼ります。教師は「私は週末買い物に行きます。」のように「週末」という言葉を使って自分の予定を言います。その後、場面会話の絵を見せて、登場人物が何を言っているか考えさせます。 ・4コマ目と5コマ目は友だち同士の会話ですから、態度や声のトーンも変えて話します。 ・会話では助詞「は」「が」「を」「へ」などが省略されることがよくあります。この場面会話でも一部の助詞が省略されています。学習者から質問が出た場合は、深い説明はせず、特に普通体の会話では一部の助詞が省略されることがよくあり、そのほうが自然に聞こえると伝えてください。場面会話を聞かせて、そのままリピートさせてください。 						
練習1	<p>用意するもの</p> <p>「します」「する」「いきます」「いく」のこぼカード(ます形と辞書形で、文字の色を分ける)、「ますけい」「じょけい」のこぼカード、基本動詞のこぼカード</p> <p>1グループ:「いきます(L3)」「かきます(L4)」「ききます(L4)」「はなします(L4)」「けします(L4)」「のみます(L1)」「よみます(L4)」「あります(L2)」「のります(L3)」「つくります(L4)」「(しゃしんを)とります(L4)」「かえります(L4)」「かいます(L4)」「いいます(L4)」「およぎます(L4)」</p> <p>2グループ:「たべます(L1)」「ねます(L4)」「でかけます(L4)」「しめます(L4)」「みます(L3)」「います(L3)」「おきます(L4)」「あびます(L4)」「(シャツを)きます(L4)」「かります(L6)」「(がっこうへ)きます(L1)」「します(L4)」「ぺんぎょうします(L4)」「かいものします(L4)」「さんぽします(L4)」「せんたくします(L4)」「でんわします(L4)」「りょこうします(L6)」「けっこんします(L6)」</p> <p>「みる」「たべる」のこぼカード</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">L6までに出了た動詞</th> </tr> <tr> <td>L1</td> <td>(がっこうへ)きます、のみます、たべます</td> </tr> <tr> <td>L2</td> <td>あります</td> </tr> </table>	L6までに出了た動詞		L1	(がっこうへ)きます、のみます、たべます	L2	あります
L6までに出了た動詞							
L1	(がっこうへ)きます、のみます、たべます						
L2	あります						

L3	いきます、みます、かかります、います、のります
L4	おきます、ジョギングします、あびます、べんきょうします、かきます、ききます、よみます、かいます、(シャツを)きます、はなします、つくります、とります、かいものします、さんぽします、します、かえります、ねます、およぎます、はいります、いいます、せんたくします、でかけます、でんわします、もっていきます、あらいます、ふきます、けします、しめます、はっぴょうします
L5	むかえます、(せんせいに)ききます、(でんわに)でます
L6	りょうします、けっこんします、おわります、のぼります、しゅっちょうします、ふります、ひっこします、かります

基本動詞の絵カード、基本動詞の動詞グループのフラッシュカード(表に動詞「～ます(例:いきます)」)、裏に「動詞グループ(例:1)」を書いたもの数組、基本動詞の動詞辞書形フラッシュカード(表に動詞「～ます(例:いきます)」)、裏に「動詞辞書形(例:いく)」を書いたもの数組、50音表

動詞辞書形紹介

テキスト p.142

場面会話の2コマ目、4コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「します」「する」に注目させます。「します」「する」のこぼカードを絵の近くに貼ります。続いて、3コマ目、5コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「いきます」「いく」に注目させ、「いきます」「いく」のこぼカードを絵の近くに貼ります。その後、「します」「いきます」のこぼカードを別のところに並べて貼り直して、「ます形」と言ってリピートさせ、「ますけい」のこぼカードを貼ります。同様に、「する」「いく」のこぼカードを取って貼り直し、「辞書形」と言ってリピートさせ、「じょけい」のこぼカードを貼ります。

動詞のグループ分け

動詞辞書形の作り方を指導する前に、動詞のグループ分けを指導します。

教師は、ホワイトボードの左に「1」、中央に「2」と大きく数字を書きます。そして、1に「いきます」、2に「たべます」のこぼカードを貼ります。続いて、「かきます」「よみます」のカードを読みながら「いきます」の下に、「あけます」「しめます」のカードを読みながら「たべます」の下に貼ります。読むときは、「ます」の前の母音を少し長く発音します。さらに、50音表で「き」「み」を指して、イ段であることを示し、「け」「め」を指して、エ段であることを注目させます。その後、学習者に1グループと2グループの動詞ます形のこぼカードを配ります。学習者に一人ずつ前に出て持っている動詞ます形のこぼカードを読み上げ、1か2に貼るようと言います。教師は「ます」の前の音を50音表で指し示して、1が「-imasu」でイ段、2が「-emasu」でエ段であることを気付かせます。

次に、「みます」「います」「(シャツを)きます」「おきます」「あびます」「かります」を1から取り出して、2に移動し、ひとまとめにして、枠で囲みます。そして「これは-imasuです。でも、2グループです。覚えましょう。」と言い、繰り返しリピートさせます。

全員がカードを貼り終わったら、ホワイトボードの右に「3」と大きく数字を書き、そこに「します」「(がっこうへ)きます」を貼り、「この2つは3グループです。」と言います。その後、「さんぽします」「かいものします」「せんたくします」「でんわします」「べんきょうします」を「します」の下に貼り、「これは『します』のグループです。」と言います。

グループ分けがわかったら、今度は動詞グループのフラッシュカードで動詞ます形を見て、グループを言

う練習をします。練習の始めのうちは、ホワイトボードに貼った動詞のこばカードはそのままにし、わからないときに見られるようにしておきます。続いて、3、4人のグループを作り、フラッシュカードを配布して、動詞ます形を見て、その動詞のグループを言う練習をさせます。

ホワイトボードがなかったり小さかったりする場合は、壁に模造紙を貼ってホワイトボード代わりにし、そこに動詞のこばカードを貼らせてもいいでしょう。

動詞辞書形の作り方

テキスト p.142①

①のモデル会話の絵を見て、左の絵はAさんが会社の人と、右はAさんが友だちと話していることを確認します。その後、モデル会話を聞いてリピートさせ、セリフを見せて、友だちとの会話では「します」「みます」ではなく、「する」「みる」と言うことに注目させます。

3グループの動詞

その後、学習者に「します」が3グループであることを確認し、ホワイトボードの3のところに「します」のこばカード、となりに「する」のカードを貼り、リピートさせます。次に、「きます」「くる」のこばカードを貼り、リピートさせます。続いて、動詞辞書形フラッシュカードを使って、辞書形を言う練習をします。「かいものします」「べんきょうします」などのする動詞が出てきたら、「かいものする」「べんきょうする」になることを示します。

2グループの動詞

次に、学習者に「みます」のこばカードを見せて、何グループかを確認しつつ、ホワイトボードの2のところに貼り、となりに「みる」のカードを貼ります。同様に、「たべます」「たべる」のカードを貼り、「ます」が「る」になることに注目させます。続いて、フラッシュカードで2グループの動詞のます形を見せて、辞書形を言わせませす。

1グループの動詞

3グループ、2グループの辞書形が言えるようになったら、1グループの動詞の辞書形の作り方を説明します。「かきます」のフラッシュカードの表を見せてリピートさせ、裏を見せて「かく」とリピートさせて、50音図で「く」を指し、「き」がか行のイ段で、「く」がウ段であることに注目させます。「はなします」「よみます」「とります」も同様に、動詞辞書形のフラッシュカードを見せて、辞書形「はなす」「よむ」「とる」をリピートさせ、50音表で「す」「む」「る」を指して、語末がウ段になることを示します。その後、今度は学習者に辞書形を言わせませす。まず、教師がます形を言い、学習者が辞書形を言います。例えば、「飲みます」と教師が言った後、学習者に50音表を見せて、学習者に「飲む」と言わせませす。今度は、「かきます」「いきます」「きます」、「かえます」「とります」のように語末が同じ音になるものを選んで同様に辞書形を言わせませす。それができたら、教師はフラッシュカードを使って、ランダムにます形を出して、辞書形を言わせませす。その後、3、4人のグループにして、グループごとにフラッシュカードを配布して、辞書形を言う練習をさせませす。

1グループの活用ができるようになったら、2グループ、3グループの動詞のフラッシュカードも加えて練習させませす。始めは動詞のグループ別に練習させませすが、言えたら、1～3グループの動詞のカードを混ぜて練習させませす。

続けて、基本動詞の絵カードを使って、辞書形を言わせませす。その後、p.142①の1)～4)の絵カードを使って、辞書形を言わせませした後、1)～4)の代入練習をします。2)の助詞「に」は省略しないで、「友だちに会う。」と言うように指導してください。

テキスト p.142②

	<p>②のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせます。「飲む」のイントネーションの違いに注意させます。続いて、1)～4)の代入練習をします。その後、③～⑤の会話を練習します。まず二人組で練習させ、できたら発表させます。</p>
練習2	<p>用意するもの 日本地図、長野県の山の写真か絵</p> <p>「名詞」に行きます</p> <p>テキスト p.143②①</p> <p>場面会話3コマ目、5コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「～に行きます」に注目させます。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせ、リピートさせます。続いて、1)～4)の代入練習をします。二人組にして、モデル会話および1)～4)の会話の練習をさせます。</p> <p>テキスト p.143②②</p> <p>②の絵を見せて、会話をさせます。その際、日本地図で長野の位置を示し、長野の山の写真か絵を見せて、長野がイメージできるようにします。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの なし</p> <p>できますか？</p> <p>授業後、日本語学校の先生(青木先生)と留学生のキムさんが話しています。青木先生がキムさんに日曜日何をするか聞くと、キムさんはクラスメートのマリーさんと買い物に行くかと答えます。キムさんも青木先生に何をするか聞きます。先生はケーキを作ると答えます。</p> <p>その後、キムさんはクラスメートのタンさんと日曜日何をするかを話します。キムさんがタンさんに何をするか聞くと、タンさんは友だちのラマさんとジョギングをしないと答えます。タンさんもキムさんに何をするか聞きます。キムさんはマリーさんと買い物に行くかと答えます。</p> <p>これもできますか？</p> <p>先生が学生Aに夏休み何をするか聞きます。学生A役の学習者は自由に考えて答えます。続いて、Aが先生に何をするか聞きます。先生は、ニューヨークへミュージカルを見に行くかと答えます。その後、AはクラスメートBと夏休みに何をするか話します。B役の学習者も何をするか自由に考えて答えます。その後、今度はBがAに何をするか聞きます。</p>

パート	L7-2 わたしは行かない
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・週末のイベントに参加するかどうか、先生と話すことができる。 ・週末のイベントに参加するかどうか、友だちと話すことができる。
場面設定	日本語学校の先生(青木先生)と学生のタンさんが学校でエレベータを待つ間、バーベキュー大会のポスターを見ながら、バーベキュー大会に行くかどうか話します。その後、今度は学生3人(タンさん、マリーさん、キムさん)が同じポスターを見てバーベキュー大会に行くかどうか話します。
場面会話	<p>用意するもの なし</p> <p>指導のポイント</p> <p>1、2コマ目は先生と学生の会話で、2、3コマ目は学生同士の会話です。先生と学生の会話と学生同</p>

	<p>士の会話では、ことばだけでなく、声のトーンも違います。また、普通体ではイントネーションに機能を決定づける重要な役割があります。モデル会話をよく聞いて、リピートするように指導します。</p>
<p>練習1</p>	<p>用意するもの</p> <p>「たべる?」「うん、たべる。」「うん、たべない。」「たべません」、「ない」「します」「しません」「しない」「きます」「きません」「こない」「いきます」「いきません」「いかない」のことばカード、「ないけい」のことばカード、50音図、基本動詞の絵カード、基本動詞の動詞ない形フラッシュカード(表に動詞「～ます(例:たべます)」、裏に動詞「～ない(例:たべない)」を書いたもの)数组、水のペットボトルと紙コップ</p> <p>動詞ない形の作り方</p> <p>テキスト p.148①</p> <p>場面会話の3コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「行かない」に注目させます。続いて、学習者を一人前に出して、水のペットボトルを持たせ、クラスの他の学習者に、「飲む?」と聞かせます。普通体の会話ですから、学習者同士で会話をさせます。「飲む?」という質問を聞いてうなずいた学習者には「飲む。」、飲まないという表情の学習者には、「読まない。」と言わせます。その後、①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせてリピートさせた後、「たべる?」「うん、たべる。」「うん、たべない。」のことばカードを貼ります。さらに、「たべない」の近くに「たべません」のカードを貼り、意味を確認させ、「ないけい」のカードを貼って、ない形と呼ぶことを示します。</p> <p>2グループの動詞のない形</p> <p>「たべます」のことばカードを見せ、「ない形は?」と言い、学習者に「たべない」を言わせます。その後、「たべます」の「ます」の上に「ない」のことばカードを貼り、2グループの動詞は「ます」を取って「ない」に変えろとない形になることを示します。その後、「みます」のフラッシュカードを見せて、否定形「みません」と言わせた後、フラッシュカードの裏を見せて、「みない」とリピートさせます。続いて、動詞ない形2グループのフラッシュカードを使って、ない形を言う練習をさせます。カードの表の「～ます」を見せて、ない形を言わせた後、フラッシュカードの裏の「～ない」を見せて文字で確認させます。3～4人組にして、2グループのフラッシュカードを配布し、練習させます。</p> <p>3グループの動詞のない形</p> <p>続いて、学習者に「します」「きます」のことばカードを見せて、3グループであることを確認したら、それぞれ「ない形は」と言いながら、「しない」「こない」のことばカードを見せて、リピートさせ、文字でも確認させます。その下に、「しません」「きません」のカードを貼ります。3グループのフラッシュカードを使って、ない形を言わせた後、カードの裏の「ない」を見せて、文字で確認させます。3グループの「ない」が言えるようになったら、2グループのフラッシュカードを合わせて練習させます。</p> <p>1グループの動詞のない形</p> <p>場面会話3コマ目の絵をもう一度見せて、会話をさせ、キムさんの「わたしは行かない。」に注目させます。「いきます」「いきません」「いかない」のことばカードを貼り、50音図を使って、「いきます」の「き」、「いかない」の「か」に注目させます。同様に、フラッシュカードを使って、「はなします」「はなしません」「はなさない」と言いながら「し」「さ」に、「まちます」「まちません」「またない」と言いながら「ち」「た」になることを50音図を使って示し、「ます」の前の音がア段になることを示します。続いて、「かいます」が「かわない」とワ行になること、「あります」の「ない」であることを注意させます。</p> <p>フラッシュカードで1グループの動詞のない形を確認したら、クラス全体でない形を言う練習をします。で</p>

	<p>きたら、今度はクラス全体で全グループのフラッシュカードをランダムに出して、ない形を言わせませす。その後、3～4人組にしてフラッシュカードを配布して、練習させませす。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>「のみませんか。」「はい、のみませす。」「いいえ、のみません。」「のまない?」「うん、のむ。」「ううん、のまない。」のことばカード、水のペットボトルと紙コップ、袋菓子</p> <p>「動詞ない形?」-「うん、動詞辞書形。」/「ううん、動詞ない形。」</p> <p>テキスト p.149²</p> <p>教師は水を紙コップに入れて、学習者に「○○さん、飲みませんか。」と呼びかけませす。学習者には、「はい、飲みませす。」と言つてコップを取りに來させたり、手を横に振つて「いいえ、飲みません。ありがとうございます。」と言わせたりませす。その後、モデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせつて、リピートさせませす。学習者同士の会話であることに注目させ、イントネーションや声のトーンに注意してリピートさせませす。セリフを見せて、文字で確認させませす。その後、学習者同士で水を紙コップに入れて、クラスの他の学習者に「飲まない?」と水を勧めさせませす。①②も動作を付けて会話させませす。②は一口で食べられるような袋菓子を用意するといいでしよ。</p>
練習3	<p>用意するもの</p> <p>「どうして?」「～から。」の句型カード、ケーキの写真か絵、</p> <p>「どうして?」-「～から。」</p> <p>テキスト p.150³</p> <p>場面会話4コマ目の絵をもう一度見せて、会話をさせ、セリフを見せて、「どうして?」「～から。」に注目させませす。ついで、学習者Aにケーキの絵を見せて、「Aさん、ケーキ、食べませんか。」と誘ひませす。学習者Aに「いいえ、食べません。」と言わせたら、他の学習者Bに「どうしてですか。」と聞かせませす。学習者Aに「今、授業ですから。」「今、ダイエットしてませすから。」などと答えさせませす。その後、モデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせ、リピートさせませす。イントネーションや声のトーンに注意し、動作を付けて言わせませす。</p>
はなしましよ	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>できますか?</p> <p>学校の掲示板の前で青木先生と留学生のキムさんが花火大会のポスターを見ながら話してませす。青木先生はキムさんに花火大会を見に行くかどうか聞ひませす。キムさんは行くと答え、青木先生に行くかどうか聞ひませす。青木先生はお母さんと一緒に行くくと答えませす。その後、キムさんは、同じポスターを見ているクラスメートのタンさんとラマさんに、花火大会を見に行くかどうか聞ひませす。タンさんは行くと答えませすが、ラマさんは行かないと答えませす。タンさんがラマさんに理由を聞くと、ラマさんはサッカーの試合を見に行くくと答えませす。</p> <p>じゆうにはなしましよ</p> <p>①会社でAさんが同僚のBさん、Cさんに今晚飲みに行かないかと誘ひませす。Bさんは行くといいませすが、Cさんは行かないと答えませす。A役の学習者はCさんに理由を聞ひてくださ。C役の学習者は自由に理由を考へて答えませす。</p> <p>②Aさんが友だちのBさん、Cさんに土曜日いっしょに交流パーティーに行かないかと誘ひませす。その後、</p>

	自由に会話を展開させてください。
--	------------------

パート	L7-3 これ、なに？
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・何かわからないものがあつたとき、先生や友だちに聞くことができる。 ・自分が感じたことを言うことができる。
場面設定	青木先生とマリーさんとタンさんがバーベキュー大会に参加しました。マリーさんとタンさんはバーベキューのアミの上にあるホイルに包まれたものが何かわからないので、青木先生に聞きます。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>アルミホイルに包んだジャガイモまたはボール2つ</p> <p>指導のポイント</p> <p>学生同士が話すときは普通体、先生と学生が話すときは丁寧体を使うことに気づかせます。4コマ目のタンさんの「あ、ほんとうだ。おいしい。」は、先生に向かって言ったのではなく、思わず口から出たことばですから、普通体を使っています。</p> <p>臨場感を出すためにアルミホイルで包んだものを使って会話をさせるといいでしょう。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>「おいしいですか。」「おいしいです。」「おいしくないです。」「おいしい？」「うん、おいしい。」「うん、おいしくない。」のことばカード、上着、椅子の絵(④の絵の椅子)</p> <p>い形容詞普通体</p> <p>テキスト p.154 ①②④</p> <p>場面会話の4コマ目の絵を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「おいしい」に注目させます。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。セリフをことばカードで見せて、絵の人物の近くに、「おいしい？」「うん、おいしい。」「うん、おいしくない。」のことばカードを貼ります。その後、それぞれのカードの下に、「おいしいですか。」「はい、おいしいです。」「いいえ、おいしくないです。」のカードを貼りながら、意味を確認します。学習者を3人組にして、モデル会話の練習をさせた後、1)～4)の絵を見せて代入練習をさせます。同様に、②は上着を使って、④は椅子の絵をクラスの椅子に貼って、動作をつけて会話をさせます。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>「へんだ。」「へんじゃない。」「へんです。」「へんじゃありません。」「へんですか。」「へん？」「うん、へん。」「うん、へんじゃない。」のことばカード、変わったデザインのサングラス、グラスかガラスの絵4つ</p> <p>な形容詞普通体</p> <p>テキスト p.154 ①②</p> <p>場面会話3コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「へんだ」「へんじゃない」に注目させます。次に①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。「へん？」「うん、へん。」「うん、へんじゃない。」のセリフをことばカードで見せ、貼ります。そのカードの下に、「へんですか。」「へんです。」「へんじゃありません。」のカードを貼って、意味を確認させます。その後、学習者を3人組にして、モデル会話の練習をさせた後、1)～4)の絵を見せて代入練習をさせます。モデル会話の練習はサングラスを使って、表情や声のトーンに注意させ、動作をつけて演じるように指導すると、楽しい雰囲気になるでしょう。②はグラスを使って、動作を付けて会話をさせます。</p>

<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p>「じゅぎょうですか。」「じゅぎょうです。」「じゅぎょうじゃありません。」「じゅぎょう?」「うん、じゅぎょう。」「うん、じゅぎょうじゃない。」のことばカード</p> <p>カレンダー(月曜日に休日がある月)</p> <p>名詞普通体</p> <p>テキスト p.155①②</p> <p>場面会話の3コマ目を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「じゃがいもじゃない」に注目させます。続いて、p.155のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。「じゅぎょう?」「うん、じゅぎょう。」「うん、じゅぎょうじゃない。」のセリフをことばカードで見せて、貼ります。そのカードの下に、「じゅぎょうですか。」「じゅぎょうです。」「じゅぎょうじゃありません。」のカードを貼って、意味を確認させます。その後、学習者を3人組にして、モデル会話の練習をさせます。その後、①の絵を見せて、二人組にして会話を練習させ、カレンダーを使って会話を発表させます。②は、②の絵のようにABの学習者以外に二人の学習者に立って話をさせるといいでしょう。イントネーションや声のトーンに注意して会話をするように指導します。</p>
<p>練習4</p>	<p>用意するもの</p> <p>「それ、なんですか。」「それ、なに?」「いつ?」「どこ?」のことばカード、箱</p> <p>疑問詞普通体</p> <p>テキスト p.156④</p> <p>場面会話の1コマ目を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「これ、なに?」に注目させます。続いて、p.156のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。セリフを見せて、「それ、なんですか。」「それ、なに?」のことばカードを貼ります。その後、学習者を4人組にして、箱を使って、二人は丁寧体で、二人は普通体でモデル会話をさせます。続いて、交替して、全員が丁寧体、普通体の会話ができるように練習します。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>回転寿司の写真か絵、いらの軍艦巻きとすじこの写真か絵</p> <p>できますか?</p> <p>留学生のマリーさんとキムさんが回転寿司の店に行きます。二人の前にいろいろな寿司が回ってきます。マリーさんがその1つを指して、キムさんに何かと聞きます。キムさんはわからないので、店員に聞きます。店員は「イクラ」だと答えますが、キムさんがよくわからない様子なので、魚の卵だと説明し、おいしいですよと勧めます。マリーさんはイクラを食べてみて、とてもおいしいと言います。続いて、二人はもう1つイクラを食べることにして、イクラを取ります。しかし、キムさんが取った寿司はイクラとよく似ていますが、少し違うので、キムさんは「変だ」と言います。マリーさんは自分を見て、「変じゃない」と言います。すると、店員がそれは「すじこ」だと教えてくれます。キムさんはすじこを食べてみて、おいしいと言います。</p> <p>これもできますか?</p> <p>AさんとBさんは友だちで、二人はこれからスポーツセンターへ行くところです。AさんはBさんにスポーツセンターはどこか聞きますが、Bさんもわからないと言います。そこで、二人は通りがかりの人に聞きます。通りがかりの人は、さくら公園の中にあると教えてくれます。二人はスポーツセンターだと思われる建物の前に行きますが、そこは図書館のようです。Aさんがへんだなあ、と言うと、Bさんがとなりの建物に「スポーツセン</p>

	ター」と書いてあるのを見つけて、「ここじゃないよ。となりだよ。」と言います。
アクティビティ —	<p>用意するもの</p> <p>p.159 ページ下の動詞の絵カード</p> <p>はなしましょう</p> <p>友だちと普通体を使って会話をするタスクです。(1)(2)ともに、点線枠の中の質問文を参考に会話を展開させてください。また、(2)の休みに何をするか考える参考資料として、p.159 ページ下の絵カードを使ってください。</p>
よみましょう	<p>指導のポイント</p> <p>グラフを読んで、質問に答えます。まず一人で、グラフを見て考えて、質問に答えさせます。その後で、2人組にして、互いに質問の答えとどうしてそう考えたかを話し合わせます。二人の答えが合わないときは、他のペアといっしょに話し合うように指示します。最後に、自分たちが考えたことをみんなの前で発表させます。</p>
かきましょう	<p>指導のポイント</p> <p>書く活動に入るまえに、「よみましょう」で読んだことをもとに、「外国人の友だちがほしいかどうか。それはどうしてか。」を話し合います。そこで話したことをもとに、二人組になって何を書くかを話し合わせます。書くことが決まったら、それぞれ自分の考えを書きます。書き終わったら、作文を交換して、話していたことが書けているかどうか確認します。表記や文法の誤りがあったら、それを互いに指摘させます。それをもとにリライトします。その後、クラス全体で作文を発表したり、意見の交換をしたりするといいいでしょう。</p>